

令和7年度

## 胆振地区の巻

事務局 伊達市立伊達小学校

胆振管内校長会は、小学校 57 校・中学校 38 校・小中併置校 1 校・義務教育学校 4 校の 100 名の校長で組織されている。今年度は新たに 11 名の会員を迎え、対面による審議（総会）を実施し、新年度役員を選出するとともに活動方針や予算を決定して活動を開始した。



伊達市 北黄金貝塚公園（縄文遺跡）

### I 本年度の活動方針

これまで、様々な教育課題の解決に奮闘してきた先輩校長が築き上げた胆振管内校長会は、その精神を受け継ぎ、子どもたち一人一人に「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」といった生きる力を育むとともに、保護者や地域住民の負託と信頼に応える学校経営を推進し、管内教育の充実と発展に向けて努力を重ねてきた。

近年では、グローバル化の進展や情報通信技術の高度化など、急激な社会的変化が進む中で、新たなスタイルの教育活動を工夫しながら展開し、今後も教育活動のさらなる充実を推進していく必要がある。

各学校においては、北海道教育の課題である学力向上と体力向上を目に見える形で実現することが責務とされており、授業改革を中心に据えながら、教職員の資質・能力の向上に取り組んでいる。また、ICT の効果的な活用や 1 人 1 台端末の有効活用を通じ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指すこと、さらにいじめや不登校問題への対応、特別な教育的配慮が必要な児童生徒への支援を進め、児童生徒が未来社会を切り拓くための資質・能力を確実に身に付けられるよう努めている。この取組には、家庭や地域との連携・協働が不可欠である。

国においても、社会の大きな変化を背景に、従来の教育制度や教育内容、教員の働き方を根幹から見直す教育改革が、スピード感をもって進められている。学校を預かる校長として、教育改革の背景と意図を的確に理解し、その理念

を教職員に浸透させることが求められる。さらに、校長としての使命を自覚し、リーダーシップを発揮して学校改善を力強く牽引していかなければならない。

学校教育が大きな変革期を迎えている現在、管内校長会の存在意義がこれまで以上に問われている。結成当初の理念と、会員一人一人が持つ教育への深い愛情を礎に、英知を結集し、管内教育のさらなる充実と発展を目指して、先導的な役割を果たしていく必要があるため、次の活動方針を掲げる。

- 1 校長としての識見・能力を高めるため、自ら研鑽に励むとともに、組織のリーダーとして指導力を培い、時代の要請や学習指導要領の目標を実現するため、「チームとしての学校」の改善・充実に一層努める。
- 2 会員相互の信頼関係を基盤に、組織の充実・強化を図るとともに、校長会の総力を結集し、迅速かつ適切に諸問題の解決に努める。
- 3 教育関係機関や関係団体との連携を強化し、働き方改革など、今日的な諸課題の解決に努める。

### II 活動の重点

- 1 校長としての職能向上を図る研修の充実
- 2 学校経営の適正化を目指した研究・実践および教育条件の整備・充実
- 3 教職員の意識改革と資質・能力の向上を通じた学校改善および働き方改革の着実な推進

- 4 後継者育成に向けた事業の推進
- ・校長採用および教頭・主幹教諭昇任希望者を対象とした後継者育成研修の実施
  - ・胆振管内公立小中学校等教員キャリアアップ研修会の実施
- 5 道小・道中、第4ブロック、各市町校長会との組織的連携の重視および行政機関並びに関係団体との連携強化
- 6 会員同士の親睦と福利厚生の実施に関する事業の推進
- 7 諸事業の機能的・効率的な運営改善および予算執行の適正化

### Ⅲ 各部の活動方針

#### 1 研修部

教育改革に向けた諸課題の解決と創意工夫ある学校経営を目指す校長の在り方を追求するために、胆振管内校長会として組織を生かした研修の活性化を図り、絶えず校長としての職能の向上に努める。

#### 2 経営部

道小・道中校長会及び各市町校長会と連携し、学校経営上や組織・法制上の諸問題の把握や教育の今日的な教育課題等の情報収集に努め、その研究と解明を通して、胆振管内校長会の連帯性と組織力の強化を図り、自らの職能向上に努める。また、事務局と連携し管内教育を支える後継者の発掘と育成に努める。

#### 3 対策部

各種調査、福利厚生事業の推進を通して、会員相互の連携を深めるとともに、学校経営のより一層の充実を図る。また、事務局と連携し管内教育を支える後継者の発掘と育成に努める。

#### 4 情報部

今年度の胆振管内校長会の活動方針に基づき、会報・会誌の発行活動を通して各市町校長会及び会員相互の連携、意識高揚、資質向上を図る。

### Ⅳ 役員

会長	大谷 昌史 (室蘭市立旭ヶ丘小)
副会長	中島 勉 (苫小牧市立美園小)
〃	熊谷 誠 (苫小牧市立沼ノ端中)
運営委員	井村 友美 (苫小牧市立泉野小)
〃	福岡 雄司 (伊達市立星の丘小中)
事務局長	近藤 大作 (伊達市立伊達小)
事務局次長	仲見 真樹 (苫小牧市立日新小)
〃	能登 敬久 (苫小牧市立開成中)
会計	猪子 雅司 (登別市立幌別西小)
〃	清水 京子 (厚真町立上厚真小)
研修部長	河毛 幸至 (苫小牧市立錦岡小)
経営部長	今田 和也 (苫小牧市立大成小)
対策部長	宮村 直人 (豊浦町立豊浦小)
情報部長	萩原 享 (室蘭市立八丁平小)
道小監査	大谷 昌史 (室蘭市立旭ヶ丘小)
道小事務局幹事	田中 雅子 (苫小牧市立明野小)
道中会長	山田 誠一 (室蘭市立室蘭西中)
道中情報部副部長	鏡 武志 (苫小牧市立和光中)
道中情報部幹事	宮田 真基 (むかわ町立鶴川中)
〃	山岸 弘昇 (苫小牧市立ウトナイ中)